

施策 No.34 中小企業の経営基盤の強化										基本計画 掲載頁	110～112
総合評価	A：想定以上に 進捗した	今後の 方向性	I：現状のまま 継続	施策展開の評価数		A	2	B	2	C	0
				(参考)事務事業評価の実施状況		A	0	B	2	C	0
成果	「何度でも」「無料で」「結果が出るまで」「伴走型で」をコンセプトとして、無料の経営相談所「にいがビジネスサポート事業」を実施した。また、専門家による経営コンサルティングを通じて、事業者の最大の経営課題である売上改善等のサポートを行うことができた。			成果・課題を 踏まえた今後 の対応方針	経営コンサルティング業務は引き続き実施していくが、今後、市内事業者同士で交流が持てるイベントの実施など、にいがビジネスサポート事業として、より効果的な事業者支援を進めていく。 また、経営相談を通じて、市内事業者へのIT・DX活用などに係る事業提案や補助金の利用促進を行う。						
課題	にいがビジネスサポートは、事業者や起業を考えている方からのニーズが高いことから、より効果的な事業者支援を検討していく必要がある。										

主な施策展開の進捗状況（定性的な評価）

【評価の基準】 A：想定以上に進捗した B：順調に進捗した C：進捗が遅れた

(1) 中小企業の育成・支援体制の充実		評価	主な取組実績・評価理由（※評価「C」とした場合、課題とその対応方針も記載）	所管課
1	景況や経営ニーズに即した融資や支援制度、経営相談の充実などを関係機関と連携して進めていくことにより、中小事業者の経営の安定化と経営基盤の強化を図ります。	A	・金融機関と連携を図り市制度融資の利用促進に努めたほか「にいがビジネスサポート」での中小企業診断士による経営相談事業を推進し、市内事業者の経営支援を図った。	産業振興課
2	起業・創業を目指す人を対象とした、相談体制の充実や創業資金の支援に努めます。	A	・「にいがビジネスサポート」経営相談を通じて中小企業診断士による起業家への創業計画に係る事業提案などや新座市新規創業融資利子補給金の利用促進に努め、相談体制の拡充や創業資金の支援を図った。	産業振興課
3	中小企業の経営者の高齢化、後継者不足に対する課題を解決するため、関係機関と連携を図り、事業承継に関する相談や支援の充実を図ります。	B	・事業承継支援を図ることを目的に協定を締結した関係機関との適宜意見交換や情報共有に努めたほか（市主催による事業承継に関する意見交換会を1回開催）、市内事業者への新座市事業承継・M&A支援事業補助金の事業周知をチラシ配布やホームページ掲載で行った。	産業振興課
4	デジタル社会の進展に伴う、新たなビジネスモデルへの対応が図れるよう、中小企業のデジタル化を支援します。	B	・「にいがビジネスサポート」経営相談を通じて中小企業診断士による市内事業者へのＩＴ・ＤＸ活用などに係る事業提案のほか、ＩＴ・ＤＸ活用に資する市独自の補助金の利用促進に努め、市内事業者支援を図った。 【支援実績】IT・DX導入費補助金 1,815千円/2,000千円（予算額）	産業振興課

施策のK P I（重要業績評価指標）

【達成度の基準】 A：目標を上回るペースの指標値 B：目標値を達成するペースの指標値 C：目標を下回る指標値

項目	現状値 (策定時点)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標値	令和6年度時点 達成度	所管課
経営相談及び起業・創業者からの相談件数	—	537件	923件				600件	A	産業振興課